

# 真面目に全うする

## モーニングセミナー

今日一日、朗らかに  
安らかに、喜んで  
進んで働きます。

<制作・著作>  
新居浜別子倫理法人会  
TEL 0897-65-1644  
FAX 0897-65-1644  
beturin@mx82.tiki.ne.jp

### 企業に元気を職場に笑いを家庭に愛を

### 笑顔は人生の宝石



『職場の教養』は専門家が1頁13行に纏めていて、私は『笑い』についてスクラップして社内勉強中。」と語る岡村建一講師



「寿命」とは、その字の如くめでたいことなのだと語る。

自信がないから何もやらない人、自信がないから不安で頑張る人がいます。私の知り合いのある社長は、「私は昔から自分に自信が持てませんでした。不安だか

自信がないから

はずっと気を抜かず頑張りました。だから事業がうまく行かなかったから、逆に、傲慢になることもなく、謙虚な気持ちでいられました。自信を

持てないことは、必ずしも、悪いことばかりではありません。自信を持って下さいます。行動する力に変わることがあるのかも知れません。

行動に移せない時には、ちょっと目標を変えてみましょう。自信のないことが、逆に、行動する力に変わることがあるのかも知れません。

は、天才的な才能と、時流や運が絶対に必要であり、そんな華々しい成功は、才能と時流がピッタリと合致してはじめてスパークするものであって、それはまさに稀少で奇跡のような存在で、滅多に出て来るものではありません。

平成二十三年十二月十四日(水) 午前六時から第三百三十七回モーニングセミナーが開催され、法人アドバイザー、有限会社岡村建設代表取締役、岡村建一氏を講師にお迎えして、「企業に元気を職場に笑いを家庭に愛を」と題して、ご講演頂きました。

私の職業は「大工」です。創業が明治四十三年の大工を継承していますから、百年以上にわたって家を建てているのです。日本の年間建設戸数が百三十万戸から徐々に減少してきて、現在は七十万戸程度と、右肩下りの時代の中心にあっても、「匠(たくみ)」を育てるのが私の仕事

と肝に銘じて、身内や自分の子供等に限らず、よそ様の子息を積極的に受け入れて、技術はもちろん、生き残る姿勢も倫理で学びながら養成しています。現在の日本では、ハウスメーカーが台頭していて、徹底した合理化のもと、西洋風の乾燥した地域の画一化された建物を量産していますが、気密性が高く結露が発生すればハウスダストとなり、それを防ぐため壁面はホルマリン漬けになっていて、高温多湿の日本風土には合わず、「家を造って子を失う」状況なのです。また、「大工と雀は軒でなく」というように、軒の長さを見れば技術水準は一発

### 地味に成功するために 誰でも出来る計画を立てること

坪単価は高くとも、日本風土に合致した技術水準の高い家を求める人は必ずいるものです。泥臭くとも真面目に匠を養成し続けたいと心に決めているのです。「寿命」とはその字の如くめでたく、「運命」は、愛に溢れた人生を、倫理と共に歩み続けたいのです。

決して特別なことではない、誰にでも容易に出来ることを丁寧かつ確実に、粘り強くやり続けられる人が、結局は最後に成功する人なのだと思えます。どんなに飛び抜けた才能を持つ人でも、どんなに超一流の技術や実績を持つ会社でも、その活動全般を冷静に眺望してみると、その大半は、素人でも容易に出来ることの繰り返しの成り立ちに、改めて気付かされます。華々しい成功のために

「継続は力なり」という格言がありますが、もしもあなたが着実な実績を望むのなら、派手な目標を掲げられて、階段を飛ばさないことです。単純なものほど奥が深く味わいがあるものです。地味なことを真面目に延々と継続して行ける人は、ほとんどいないのも事実ですから、目の前の出来ることを手を抜くことなく、黙々と粘り強く継続することです。

「期待」と「自信」というものは、本質的に違うものだと私は思います。例えば、やる前から何となく出来る気がしていることは、往々にして経験することですが、それは、未来



目標までの道のりには、必ず障害があります。だから、未来を期待していても、些細なことで躓き、或いは、少しでも挫折するような障害が立ちちはだかること、個々のやることに絶対の自信があった訳ではないですから、出来るイメージが「一気に見えなくなってしまう」のです。そして、些細な障害や躓き、ほんの小さな失敗でも、大きな失望を抱くことになり、一気に自信を失ってしまうのです。

絶対うまくいく方法はないけれど、最悪の結果を回避する方法があります。それは、「一生懸命やること」。「一生懸命やり通せば、最悪の結果にはならないものです。逆に、怠けた時は最悪の結果が出るかも知れません。だから、一生懸命取り組んで、結果に悔いを残さないようにしましょう。

### 「期待」と「自信」

### 経験の積み重ねの重要性

「期待」と「自信」というものは、本質的に違うものだと私は思います。例えば、やる前から何となく出来る気がしていることは、往々にして経験することですが、それは、未来

絶対うまくいく方法はないけれど、最悪の結果を回避する方法があります。それは、「一生懸命やること」。「一生懸命やり通せば、最悪の結果にはならないものです。逆に、怠けた時は最悪の結果が出るかも知れません。だから、一生懸命取り組んで、結果に悔いを残さないようにしましょう。

最悪の結果に ならない方法



役員朝礼 挨拶実習の様子

役員朝礼について講師講評

「夢かぎりなく」斉唱